

福寿草

新俳句人連盟
石川県支部

発行
野村芳泉

NO 77

2012年

2月1日

交流誌頂いた
支部

孟宗置賜
(山形)
神奈川支部
どんぐり会報
俳句人大分とよま
俳句人とやま
長野支部報

俳句人愛媛
支部報
花信(兵庫支
部)

「べらんめえ」
東京23区支



新春を迎えての石川県支部の皆さんへ
希望を切り開く年になりますように

工藤博司

ようやく青空の覗く日が続いています。今年は大雪にいたためつけられています。風邪も流行しています。どうぞ体に充分気をつけて句作に励んで下さい。

「姿を写す」ことに努力する。「心情をもの姿に託す」ことの大切さについて強調してきましたが、今回の作品は、そのための努力している様子がうかがえます。ただ、そのことが単に名詞の重なりだけで終わらないように、表現に、メリハリをつけることが大切になってきます。また、句の基本的な意味が、読みとれるように表現することも大切です。俳句は、繰り返し基本をふまえることの大切さを教えてくれます。そこに苦しくても楽しい世界が広がります。

青年の手力冬の林檎割る

二〇一二年、一、二〇

工藤博司

俳句人石川支部初句会

新俳句人石川県支部2012年初句会が1月12日白山市千代女の里俳句館で15名が出席し宮岸副支部長の司会、野村支部長の挨拶で開催しました。初句会ですので昼食をはさみ、新年の抱負を語り合いました。

午後からは、堀副支部長を中心に初句会、三句投五句選、そなかで工藤博司先生にえらんで頂いた一句が下記の通りです。

2月は、紙上句会です

2月は、紙上句会です。指定の投句ハガキで、2月20日まで投句して下さい。お待ちしております。

二〇一二年初句会 工藤博司選

冬帽子夫が洗いし玻璃光る 香月

のしかかる雪雲晴れて樹氷群 芳泉

ポケットの指を教える師走かな 建次

年納めボンボン漁船帰り来る 淑江

ケアハウスクリスマスツリー他人顔 淳

明けの春転ばぬように八十路坂 小雪

泥葱を束ねて友の笑顔くる 幸清

湯上がりりの鶴仙峡や照る紅葉 めぐみ

昭和史学び直しの読みはじめ 紅泉

福島の蜜りんごむくお正月 美苗

曇天に戦友を悼むかばたん雪 南中

年暮るる赤門寺の布草履 光意

初詣反核語る僧の寺 十美

「帰りたい」冬枯れの声絞り出す もり

先見えぬ震災日本去年今年 関



2012年新年初句会

千代女の里俳句館にて